

会議結果報告書

- 会議名：令和5年度第1回 大野城市交通活性化協議会
- 日時：令和5年8月31日（木）10：00～12：00
- 場所：大野城市役所 新館4階 426会議室
- 出席者：委員14人中 出席14人
事務局4人
- 傍聴人：1人
- 会議要旨：下記のとおり

説明事項

1. アンケートの実施状況について

説明概要

7月に実施したまどか号利用者の実態調査（以下「実態調査」という）や8月に実施した市民アンケート調査の実施状況について説明を行った。

質疑・意見等

- ・実態調査での年齢や性別では平日と休日で特に傾向に変化はないか。（委員）
→特に変化はない。（事務局）

- ・実態調査では、買い物需要が多い結果であったが、「イオン大野城」と比べ「イオン乙金」バス停の利用者が少ないように感じる。何か違いはあるか。（委員）

→推測にはなるが、まどか号は循環型運行であり、「イオン大野城」と「イオン乙金」に向かうことができるため、商業規模やイオン周辺の病院施設等の集積などの違いによるものと考ええる。（事務局）

→東コミュニティ運営協議会が実施しているおげんき号の発着点を「イオン乙金」にしており、昨年度にダイヤや運行ルートを変更した結果、利用者は増えている状況である。このため、東地区の方はまどか号よりもおげんき号で「イオン乙金」を利用していると考ええる。（委員）

→公共交通ネットワークの再編にあたっては、地域で運行されているおげんき号やふれあい号とどう連携していくか、高齢者移動支援の観点からも検討していく必要があると考えている。（事務局）

- ・実態調査から見えてきた課題はあるか。（委員）

→まどか号は西鉄路線バス廃止の代替として導入した経緯だが、実態は想定以上に通勤通学の利用が多かった。このことから、まどか号の利用者を安定的に確保していくためには、高齢者の移動を支えるという側面と通勤通学の利用者をどう確保していくかを検討していく必要があると考えている。（事務局）

- ・実態調査の実施時期（季節）によって利用状況に変化はあるか。（委員）

→例年の運行事業者からの報告では、寒い季節に利用が減る傾向にある。（事務局）

2. 運行ルートの見直し方針

説明概要

実態調査を踏まえ、3つのコミュニティバス運行ルートの見直し方針について説明を行った。

質疑・意見等

《見直し方針について》

- ・JRや西鉄電車などの交通機関と「つなぐ」ことは重要と考える。また、路線バスの廃止エリアをカバーするためにまどか号を走らせているにも関わらず、路線バスとの運賃格差が大きいことからまどか号の料金体系は適正ではないと考えるため、適正な料金に見直すべきである。（委員）

→今後は、計画策定と並行して適正な料金体系について委員の皆さまと議論していきたい。（事務局）

- ・南地区では高齢者移動支援事業のなかで、バス停4箇所に市と共働でベンチを設置している。路線バスのバス停に運行事業者としてベンチを設置する考えはあるか。(委員)
- 大野城市では下大利駅やイオン大野城で設置したことはある。その他の例では、大橋駅などの福岡市内の乗り継ぎが多い駅などにおいて福岡市と共働のベンチプロジェクトとしてベンチを設置した例はある。しかし、基本的には一般路線バスのバス停では、市や地域・企業の拠出によりベンチを設置している状況である。(委員(西鉄))
- 大野城市では、福祉政策の一環として、ベンチネットワークを構築するため路線バスや公園、商業施設などへのベンチ設置の検討を進めており、検討を進めるなかで路線バスのバス停にもベンチの設置を依頼する可能性もある。(事務局)

- ・大城ルートと乙金ルートの乗客数が多いのは、乙金第二区画整理事業などの住宅開発による人口増加が背景にある。今後のルート再編にあたっては、現在の東地区の人口分布や高齢者分布も踏まえ検討してもらいたい。(委員)
- ルート再編にあたっては人口分布も考慮して進めて行く。また、東部ルートは乙金ルートと重複しているところが多いため、今回の見直しのなかで再検討し改めて提案したい。(事務局)

- ・鉄道駅乗り入れ強化にあたり、市域を越えて運行するうえで何か取り決めはあるのか。(委員)
- 取り決めはない。市民の生活圏を考慮することが重要なため、他市にある桜並木駅や春日原駅などへの乗り入れは積極的に検討していく。(事務局)

- ・利用者の要望が最も高い「運行本数の充実」だが、これはコロナ減便が影響しているものか。(委員)
- コロナの影響で約100便を約80便にしているが、乗客数は約3割減ったまま回復の兆しはない。このことから、従前のように本数を戻しても乗客数にどれくらい寄与するかは検討の余地があると考えている。また、便数を増やすことは運転手の確保や経費の増加となるため、簡単に実施できないと考えている。(事務局)

- ・重層的な移動支援の検討とは、デマンドバスのことか。(委員)
- 高齢者移動支援やデマンドバスのことである。(事務局)

3. 春日原駅乗り入れの検証結果について

説明概要

昨年度に実施した実車を使用した春日原駅への乗り入れの検証結果について、写真や図面等を使って説明を行った。

- ・春日市域への乗り入れについて法的に問題点はないか。(委員)
- 法的な問題はない。実際の乗り入れについては、春日市道を通るため春日市道路管理者と協議を進めている。また、駅前広場の整備と併せて東口広場にまどか号が発着できるよう進めている。(事務局)

- ・下大利駅の東側にバスの発着所ができると聞いているが、そこにまどか号が乗り入れる可能性はあるのか。将来的には下大利駅東線の整備も計画されており、太宰府市のまほろば号も下大利駅に乗り入れたいという話も出てくるのではないかと考える。(委員)
- 下大利駅については、現在西口に発着している西鉄路線バスが東口発着に変更する予定である。まどか号の乗り入れは、南地区へのまどか号導入と関連しているため、ルート再編をどうしていくか協議をしていかなければならない。(事務局)

- ・春日原駅の乗り入れの行きと戻りルートにおいて、セブンイレブンがある交差点での右折や春日原駅線から東口広場に入る右折については、渋滞状況するとスムーズに運行できない懸念があるため、新たな信号機の設置などの予定はあるか。(委員)
- 現在、春日市が信号機の設置等の交通規制について警察と協議を進めていると聞いている。今後とも春日市と協議し、結果は報告する。(事務局)

- ・南地区へのまどか号導入の協議はどこでされるのか。(委員)
- 南地区へのまどか号の乗り入れについては、市民や市議会議員からも要望があっている。今回の市民アンケート調査の結果も踏まえてこの協議会で議論したい。(事務局)
- ・春日原駅への乗り入れは利便性が向上するので期待している。乙金ルートや東部ルートは JR の駅に接続していなかったり、片側循環で不便になっている地域もあるので、双方向運行などについても考えてよいのではないか。(委員)
- 循環型運行やルートそのものを見直すことについて検討していきたい。(事務局)

4. 高齢者移動支援事業の現状について

説明概要

高齢者移動支援事業であるおげんき号、ふれあい号の概要説明と、重層的な支援の在り方について説明を行った。

- ・これまでは人を送るという考えが交通の主体になっているが、「つなぐ」の考え方を入れて欲しい。(委員)
- 西鉄の路線バスは幹線を運行している。生活圏を担っている高齢者移動支援と「つなぐ」事については検討していきたい。(事務局)
- ・高齢者の他に、「妊婦」に対する施策はどう考えているか。兄弟児がいる妊婦は移動がとても大変である。(委員)
- 妊婦についても高齢者等の定義に含まれており、移動制約者として重層的な支援の対象と考えている。今後どのように支援していくかはもう少し詳しく検証していきたい。(事務局)
- ・妊婦がふれあい号等に乘れる旨の周知はされているのか。(委員)
- ふれあい号は高齢者ではなくとも、移動に制約があれば乗車できるようにしている。ただし、自力または付き添い者により乗車ができる人に限られる。(委員)
- ・「なかよし号」は地域支援という形で運行されていると思われるが、まどか号のルート見直しにあたっては、「なかよし号」のあり方について検証し、「なかよし号」の経緯を踏まえ見直しを考えなくてはならない。(委員)
- 交通ネットワークの再編においては、「なかよし号」のあり方も含めて考えていかなければならないと考えている。単純にまどか号のルート見直しが最善かどうか也十分この協議会で議論したい。(事務局)

5. その他

西日本鉄道株式会社より今年度 10 月 1 日付けで、西鉄路線バスの市内運行路線において厚生労働省のバス運転手労働時間の改善基準を満たすため、長時間労働の原因となっており、かつ利用者も少ない早朝 5 時台や深夜 23 時台の一部の便を減便する旨の報告があった。

- ・平野台を運行している路線バスの便数が確実に減ってきている。利用者の少ない早朝、深夜便のことだが、便数の減少により西鉄バス離れにならないか心配する。コロナ禍の影響が終わったら増便することは考えられるか。(委員)
- 統計データからもコロナ前の乗客数に戻ることはないと考えている。(西鉄)
- ・OD 調査(乗車降車バス停調査)については、路線バスのデータはあるのか。(委員)
- まどか号の OD 調査を実施した 7 月 13 日(木)と 7 月 16 日(日)同日の路線バスに関する IC カードデータを西鉄から提供を受けているので分析を進めているところである。(事務局)